

平成 22 年度 フード・コミュニケーション・プロジェクト (FCP)
第三回 「企業力向上の場としてのマッチングフェア・商談会の活用促進研究会」

日時 平成 23 年 2 月 3 日 15:30~17:30

場所 中央合同庁舎 4 号館 1219 会議室

出席者 5 社 5 名様

<次第>

1、開会挨拶

農林水産省 FCP チームリーダー 神井調査官

2、展示会・商談会における実態調査に関するご報告 株式会社三菱総合研究所

3、FCP 展示会・商談会シート改定案に関して

「協働の着眼点」見直しに関する意見交換

4、次年度の課題（普及、優良事例など）

5、事務連絡

<概要>

冒頭で、FCP チームリーダー 神井調査官より、FCP 商談会・展示会シート（以下、「FCP 商談会シート」という。）の活用の広がり例として、各商談会での活用、和歌山ランチなどの研修の場での活用について説明を行った。

次に展示会・商談会における実態調査に関する報告として、株式会社三菱総合研究所より中間報告を行った。

続いて FCP 商談会シートの改定案について説明を行い、意見交換を行うとともに、当研究会の次年度の課題について意見交換を行った。

<展示会・商談会における実態調査に関する報告>

(1) 調査の概要

・調査の協力が得られた展示会・商談会において、承諾を得た参加事業者（出展者、来場者）に対し、アンケート調査、インタビュー調査を実施。

・調査商談会

「地方銀行フードセレクション」 平成 22 年 11 月 9 日 東京ビックサイト

出展者 アンケート調査 13 社

バイヤー アンケート調査 71 社、インタビュー 25 社

「全国キャラバン！食の発掘商談会」 平成 22 年 11 月 15 日 札幌パークホテル

出展者 アンケート調査 34 社、インタビュー 12 社

バイヤー アンケート調査 40 社、インタビュー 34 社

以上の商談会にて回答を得た。また、1月下旬に「食のキャラバン！食の発掘商談会 福岡会場」にて追加調査を行った。

(2) 調査の結果

① アンケート調査

- ・ 出展者、バイヤーともに、類似した傾向の回答結果を得た。
- ・ 「FCP 商談会シート」の記入、閲覧経験ありの割合は、ほぼ20%であった。
- ・ 理解が容易と答えた割合、必要な情報を整理出来ると答えた割合、共通フォーマットによる情報の提供に利便性を感じると答えた割合、普及に期待すると答えた割合は、いずれも出展者、バイヤーともに80%を超えた。
- ・ 使用のメリットとしては、出展者からは、自社の商品情報が整理できる、スムーズに情報が提供できる、が多く上げられた。バイヤーからは、必要な商品情報が整理されている、スムーズに情報が把握できる、が多く上げられた。
- ・ 一方、問題点としては、出展者、バイヤーともに特になしが最も多かった。その他には、出展者からは、書くための準備と手間がかかる、伝えたいことが伝わるか不安、バイヤーからは、内容を確認するのに時間がかかる、出展者のメッセージが伝わらない、が上げられた。

② インタビュー調査

- ・ 出展者側としては、資料作成の労力が軽減できることをメリットとしてあげている一方で、記載内容に自由度を持たせるべきという意見があった。
- ・ バイヤー側としては、フォーマットが統一化されることでファイル管理、資料整理がしやすく利便性が高まるという一方で、食品表示に関係するより詳細な情報の記載を求める声があった。
- ・ 両者に共通するのは、基礎情報を伝えるツールとして「FCP 商談会シート」は有用であり、取引のきっかけとなりうるという意見であった。

(3) 意見交換

実態調査に関する報告に対し以下の意見があった。

- ・ 「FCP 商談会シート」は実質スタートして1年であるが、約20%の方が既に経験されているとのことであった。書くことで整理出来ると感じて頂いた事業者が多いのではないかと考えられ、全体的に好意的な結果となっている。今後はシートの使用目的に関する理解の促進が一番の課題であると考ええる。
- ・ 回答者の中には、書き足りないと考えている事業者もいる。フリー記入欄を設けるなどの検討が必要ではないか。また来場者には、バイヤーと卸売事業者がいるが、立場によって必要な情報のレベルに違いがあると思われる。「FCP 商談会シート」に会社パンフレットをつければ、情報として更に深くなるのではないか。

- ・出展者、バイヤーの全てのニーズを項目に入れていくと規格書になってしまう。あくまでもファーストコンタクトとして利用するという目的のものであるので、今の項目のままでも有用である。

<FCP 展示会・商談会シート改定案に関して>

事務局より、前回の研究会での指摘を受けて若干の見直しを行ったこと（改定案は別紙参照）、普及を優先に考えるべきであり、現状のままでよいという意見が多かったことを考慮しつつ、変更が必要な部分を検討したこと、改定版は、成果報告会（平成23年3月8日）にて報告し、23年度より使用スタートすることとしたいことについて説明を行った。改定案に対し以下の意見があった。

- ・認証・認定機関の許認可（商品・工場等）の欄に水産物の規格も追記してはどうか。
- ・商品写真・アレルギー表示欄に記載のある「使用している項目に○」の「使用している」の意味がわかりにくいので、なぜ7品目を使用している場合に情報として伝える必要があるのかについて、表示義務があることの説明を加えておく必要があるのではないかと意見があり、アレルギー表示欄の「使用している」の意味について「展示会・商談会シート項目と着眼点との関連」の中で説明を加えることを検討することとなった。

<次年度の課題>

- ・事業者が作成した「FCP 商談会シート」を来年度の研究会で見えていくことが考えられる。記載のレベルは様々でよいので、普及に向けて事業者が記載を難しく考え過ぎないようにできるようなサンプルを多く集め、記載のハードル下げる工夫も必要ではないか。
- ・書き方マニュアル、文例集的なものがあってもよいのではないか。
- ・アンケート結果に自信を持って良いので、普及を更に進めていくべき。「FCP 商談会シート」を企業のHPに掲載することを進めることも普及につながるのではないか。
- ・卸売事業者で「FCP 商談会シート」を使用してもらうことも普及につながるのではないか。デファクトスタンダードにするには卸売事業者の力が必要ではないか。

<事務局連絡>

成果報告会（平成23年3月8日）をご案内するとともに、「協働の着眼点」見直しに関するアンケートを依頼し、研究会を終了した。

<配布資料>

- 資料1 第三回研究会次第
- 資料2 第二回研究会議事概要
- 資料3 F C P 展示会・商談会シート改定案
- 資料4 「協働の着眼点」樹形図～製造版